



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略最前線

戦略から実動へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



▶広報すその
オンラインは
こちら



産業観光スポーツ課 995-1825

創業ワンストップ支援

地域イノベーション戦略に基づく創業支援

新規事業に挑戦する事業者は、「相談先が分からない」「支援機関を行き来する負担が大きい」といった課題を抱えています。令和7年度、市では相談の入口を一本化し、必要な支援に段階的につなぐ仕組みとして「裾野市ビジネスまるごとワンストップ窓口」の実証を行いました。

この取組は、令和7年9月に市が発表した地域イノベーション戦略に基づき、金融支援分野での支援機関の連携・ネットワーク強化に着手するものです。

令和8年1月19日(月)、市と商工会、三島信用金庫、県よろず支援拠点、県中小企業団体中央会、県信用保証協会、日本政策金融公庫の7者がこの取組の実施に関する共創パートナー連携協定を締結し事業がスタートしました。

ビジネスまるごとワンストップ窓口の特徴

創業相談の入口段階から金融機関を含む支援機関が同じ場で関わり、伴走する体制がこの取り組みの特徴です。

【特徴①】7者の連携による実効性あるワンストップ

市や関係機関が一体となり、1回の相談から経営・資金・制度・専門家支援までを見通した対応を行います。

【特徴②】駅前拠点を活用した実証型の取組

裾野駅前に新しくオープンした三島信用金庫(裾野支店・裾野東支店)を会場とし、相談のしやすさや連携の実効性を検証する実証事業として行いました。

【特徴③】相談で終わらない伴走型支援

90分の相談を起点に、商工会や金融機関などによる継続フォローや次の支援への接続までを見据えます。

令和8年度に向けた動き

2月10日(火)と3月10日(火)に、裾野市ビジネスまるごとワンストップ窓口を開催しました。1日4人の相談枠は全て予約が入り、多くの問い合わせもありました。令和8年度は、相談者や関係機関などからの意見を分析し、本格稼働に向けての議論を進めていきます。



すくすく
成長中!

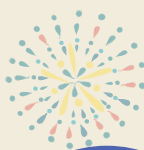
裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

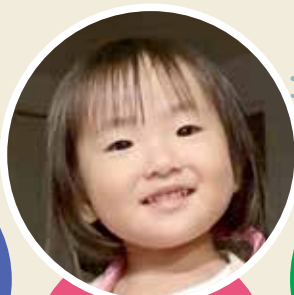
■誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



こころ
芹澤 心音さん
2歳11カ月
田場沢



けいせい
細谷 啓成さん
2歳10カ月
富士見台



えま
皆川 笑舞さん
2歳8カ月
御宿新田



あつと
佐伯 篤人さん
2歳8カ月
佐野本宿



にこ
渡邊 仁瑚さん
2歳8カ月
中丸上



4月図書館だより

開館時間/火・水・土・日曜日 9時～17時/木・金曜日 9時～19時
休館日/6日(月)・13日(月)・20日(月)・23日(木)・27日(月)



📍鈴木図書館 992-2342 📍文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

クマなく伝えたい
ホッキョクグマのすべて

著者：坪田 敏夫 鳥居 佳子
出版社：実業之日本社

ホッキョクグマの生態を、みなさんはどのぐらい知っていますか。本書では、クマに魅せられた研究者、動物園の飼育員である著者が、ホッキョクグマの聖地カナダでの生態調査を通じてホッキョクグマについて解説しています。



児童書

雪窓

文：安部 直子
絵：長谷川 あかり
出版社：あすなる書房

山のふもとの村に、店主が一人で切り盛りする屋台のおでん屋「雪窓」がありました。ある夜、店にまん丸い目をしたためぎがやってきて…。店主とさまざまなお客が織りなす、切なく、心温まる物語です。



行事予定

鈴木図書館

親子おはなし広場

ボランティアが絵本の読み聞かせ、簡単な工作を行います。

🕒 7日(火) 10時30分～11時

ベビー&キッズタイム

子どもと一緒に気兼ねなく図書館を利用できます。親子で図書館で過ごし

てみませんか？

🕒 8日(水) 9時～12時

春の花展

春の花にちなんだ本の展示をします。

🕒 3月28日(土)～4月22日(木)



文化センター図書室

おはなしの会

🕒 11日(土) 11時～11時30分

親子おはなしの会

🕒 21日(火) 10時30分～10時50分

人

すそのびと

Susonobito No.81

ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受賞

手話ダンスグループ^{ほうゆう}朋友
初代代表 岡元 弘子さん
佐野若狭・83歳



令和7年11月12日(水)に東京都で行われた令和7年度全国社会福祉大会で、ボランティア功労者(団体)として、手話ダンスグループ朋友が厚生労働大臣表彰を受賞しました。

平成10年に発足した手話ダンスグループ朋友は、手話ダンスを通して、市民へわかりやすい手話を届け、聴覚障がい者への理解を深める活動を続けています。手話ダンスとは、歌詞の意味を手話で表現しながら、

ステップや身体の動きを組み合わせで行う身体表現です。発足から継続して手話ダンスによる施設慰問などを行い、地域福祉の充実発展に積極的に尽力している功績が認められ今回の受賞となりました。

朋友を立ち上げ初代代表を務めた岡元さんは「受賞するとは思っていなかった」と今回の受賞の感想を話しました。岡元さんは現在、指導者兼顧問として、高齢者施設や市のイベントなどで手話ダンスを披露しています。「いろいろな人と出会い話すことが楽しいので、活動を苦勞だと感じたことはありませんね」と話します。



これからの目標は、「後継者を育てること」と「自分の体が動く限り活動を長く続けていくこと」だと、強く語りました。